



千支の絵・デザイン：瀧川秀敏

(広報)

おびひろ

Public Information OBIHIRO

平成30年
(2018年)
No.1124
January

1

発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151
帯広市ホームページ
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

データで知る帯広

11月末の人口と世帯数

人口▶167,711人
(前月比-49人)
男▶80,074人
女▶87,637人
世帯▶87,231世帯
(前月比-3世帯)

11月の火災発生件数

2件 (前月比±0件)

11月の家庭ごみ排出量

ごみ量 2,213t
(前年同月比+146t)
資源ごみ(Sの日)量 589t
(前年同月比+10t)

今月の紙面

新春対談 2018 2~4



十勝・帯広を舞台に、仲間と夢の実現に向けて挑戦し続けるお二人と、取り組みへの情熱などについて語ります。

お正月は
ばんえい十勝へ 5

備えてますか
冬の災害 6

意見をお寄せください
..... 12

十勝・帯広の明るい未来へ 確かな歩みを進める

帯広市長 米沢 則寿



新年あけましておめでとう
ございます。本年が、市民の
皆さまにとって明るく希望に
満ちた年となりますようお祈
りいたします。

今、わが国は、少子高齢社
会の到来や経済のグローバル
化、自然災害の頻発、技術革
新の加速など、かつてない環
境変化の中にあり、私たちの
地域にもさまざまな影響が及
んでいます。

十勝・帯広では、時代の変
化や地域課題に対応し、さら
なる飛躍につなげていくため
食と農業、豊かな自然、開拓
精神あふれる人材といった強
みを、新たな価値を創り出す
原動力としながら、圏域が一
丸となって挑戦を続けてきて
いるところです。

本年は、かつて「蝦夷地」

と呼ばれていた北の大地が
「北海道」と命名されてから、
150年目を迎えます。

私は、この節目を機に、先
人たちが十勝・帯広で風雪に
耐え、挑戦を重ねながら培っ
てきた独自の歴史・文化や素
晴らしい財産を、次代の住み
よいふるさとづくりにさらに
活かしていくとの思いを新た
にしています。今を生きる私
たちは、地域の特性や資源を
最大限に活用して、誰もが幸
せを感じ、希望を持って暮ら
せるまちづくりを進め、自信
と誇りを持って将来へ引き継
いでいかなければなりません。

本年が、十勝・帯広の明る
い未来に向け、確かな歩みを
進める年となりますことを願
い、年頭のご挨拶といたしま
す。



市民の皆さまと共に 豊かな地域社会の実現へ

帯広市議会議長 小森 唯永



帯広市議会では、行動・提
案する、分かりやすい開かれ
た議会を目指し、議会基本条
例の制定をはじめ、議会活性
化に向けたさまざまな取り組
みを行っています。

本年も、皆さまにとりまし
て希望に満ちた年となります
ことをお祈り申し上げ、新年
のご挨拶といたします。

あけましておめでとうござ
います。市民の皆さまには輝
かしい新春をお迎えのことと
心からお喜び申し上げます。
地方公共団体は、人口減少
や少子高齢化の進行などに
り、地域経済の低迷やコミュ
ニティーの衰退など、乗り越
えなければならぬ多くの課
題を抱えています。

昨年には、市民意見を反映
した政策提案機能の充実を
図るため、議員政策研究会を
立ち上げました。私たちの健
やかな暮らしを脅かす「がん」
について、地域が一体となっ
て対策に取り組むことができ
るよう、議論を重ねていると
ころです。